| 学校番号 | ３０２６ |
|---|---|

# 令和８年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 世界史探究 | 単位数 | 3単位 | 年次 | 2年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 詳説世界史 （山川出版社） | | | | | | |
| 副教材等 | 最新世界史図説　タペストリー（帝国書院） | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界各地の地誌的な違いや分布する民族の社会文化的特性に触れながら、歴史や文化について関心を高めつつ、授業をおこなう。そのため、受講者は普段から世界各地の事象に関心を持つとともに、新聞を読んだりニュース番組を見たりする習慣を持ってほしい。また、受験に耐えうるだけの知識を獲得できる授業展開を要求する声が生徒および保護者から上がっていることも踏まえ、事象の前後関係やその背景など、世界史知識の獲得を基本としつつ、歴史の面白さを感じてほしい。

2　学習の到達目標

**◆「知識及び技能」**
**古代から中世までの歴史的事象について、様々な視点から理解・考察する。**

**◆「思考力、判断力、表現力等」**
**地理や古典など他の教科の知と結びつけることで、社会情勢の理解・考察を行い、　授業で扱うテーマの背景・事実を整理することで、論理的思考力を身につける。**

**◆「学びに向かう力、人間性等」**
**現代社会へと続く歴史・文化の基盤への理解を深め、国際社会で活躍する将来像に繋がる学習姿勢を獲得する。**

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a ：知識・技能 | b ：思考・判断・表現 | c ：主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 地域や時代を問わず、史実や史料に対する理解・解釈を客観的にできる。また、史料から情報を読み取るとともに、複数の情報を組み合わせて、自らが必要とする情報を導き出すことができる。 | 歴史事象や歴史学習の意義について、多角的かつ多面的に考察・理解できる。また、現代社会における諸課題の解決に向けて、かつ解釈のわかれる歴史事象について、知識を援用して、自説を論じることができる。 | 過去の事象を暗記対象としてのみ捉えたり、他国の事象を他人事として受け流したりするのではなく、間接的ではあっても現在の自分自身につながる事象として捉え、関心を持つと同時に、その事象に対して自身の意見を持つようにする。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1 | 諸文明の成立と特質 | 古代文明の誕生<br>古代オリエント文明<br>南アジアの古代文明<br>中国の古代文明<br>南北アメリカ文明 | a:資料を読み、当該地域の自然環境を考慮しながら、共通点・相違点を理解している。<br>b:古代文明の歴史的特質を多角的・多面的に考察・表現している。<br>c:古代文明の歴史に関する自身の興味・関心をもとに、学習・議論することができる。 | 小テスト・定期考査 | レポート作成やプレゼンテーション発表 | 授業内容入力シート |
| | イスラーム以前のユーラシア世界 | 中央ユーラシア世界<br>中国の動乱と変容<br>南アジアの統一国家<br>東南アジア世界の形成と展開<br>西アジアと地中海周辺の国家形成<br>キリスト教の成立 | a:ユーラシア世界の社会文化について、他の地域と比較・理解している。<br>ｂ：ユーラシア世界の動きと他地域への影響を、多角的・多面的に考察・表現している。<br>ｃ：ユーラシア世界の動きに関する自身の興味・関心をもとに、学習・議論することができる。 | 小テスト・定期考査 | レポート作成やプレゼンテーション発表 | 授業内容入力シート |
| 2 | イスラームの成立とヨーロッパ世界の変容 | イスラームの成立と拡大<br>ヨーロッパ世界の形成<br>西アジア世界の変化<br>西欧の封建社会とその展開 | ａ：イスラーム文化の成立と拡大について、他地域に与えた影響を踏まえて理解している。東欧・西欧の社会文化の形成を理解している。<br>ｂ：宗教と王権の関係性を、多角的・多面的に考察・表現している。<br>ｃ：イスラームや欧州に関する自身の興味・関心をもとに、学習・議論することができる。 | 小テスト・定期考査 | レポート作成やプレゼンテーション発表 | 授業内容入力シート |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 | アジア諸地域の自立化<br>モンゴルの大帝国<br>オスマン帝国<br>ムガル帝国 | ａ：１０－１２世紀のモンゴル帝国をはじめとしたアジア諸国の動きについて、他地域との交流を踏まえて理解している。<br>ｂ：国家・王朝の交代による社会文化の交流を、多角的・多面的に考察・表現している。<br>ｃ：アジア諸国に関する自身の興味・関心をもとに、学習・議論することができる。 | 小テスト・定期考査 | レポート作成やプレゼンテーション発表 | 授業内容入力シート |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 3 | 大交易・大交流の時代 | アジア交易世界の興隆ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容 | ａ：世界の一体化の流れについて、理解している。<br>ｂ：アジアとヨーロッパの交流とその影響を、多角的・多面的に考察・表現している。<br>ｃ：アジアとヨーロッパの交流に関する自身の興味・関心をもとに、学習・議論することができる。 | 小テスト・定期考査 | レポート作成やプレゼンテーション発表 | 授業内容入力シート |
| | アジアの諸帝国の繁栄 | オスマン帝国とサファヴィー朝<br>ムガル帝国の興隆<br>清代の中国と隣接諸地域 | ａ：圧倒的な繁栄を誇っていたアジア諸帝国について、国際交易の観点から理解している。<br>ｂ：同時代のヨーロッパに対する優位性を、多角的・多面的に考察・表現している。<br>c:15－18世紀のアジアに関する自身の興味・関心をもとに、学習・議論している。 | 小テスト・定期考査 | レポート作成やプレゼンテーション発表 | 授業内容入力シート |

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度